

## 業績目録（令和2年）

教室・部門名 リハビリテーション医学

(A-a) 英文著書

なし

(A-b) 和文著書

1. 編集 沢田光思郎. 特集 大事なことだけスライドに！学び直しにも使える！誌上開催！回復期リハ病棟の“すべらない勉強会”，リハビリナース，13（2），111，メディカ出版，大阪：2020.
2. 総編集 久保俊一，三上靖夫. 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト，医学書院，東京：2020.
3. 久保俊一，三上靖夫. I. 生活期のリハビリテーション医学・医療総論  
1. リハビリテーション医学・医療の概要，生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一，水間正澄). 医学書院，東京：pp2-8，2020.
4. 堀井基行，三上靖夫. I. 生活期のリハビリテーション医学・医療総論  
3. 生活期に利用できる医療・介護とその利用方法，生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一，水間正澄). 医学書院，東京：pp14-18，2020.
5. 河崎 敬，坂野元彦. I. 生活期のリハビリテーション医学・医療総論  
5. 施設における生活期のリハビリテーション医療の必要性，生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一，水間正澄). 医学書院，東京：pp21，2020.
6. 沢田光思郎，三上靖夫. II. 生活期のリハビリテーション医療の進め方  
2. チームアプローチのためのカンファレンス，生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一，水間正澄). 医学書院，東京：pp36-37，2020.
7. 西郊靖子，中村 健. II. 生活期のリハビリテーション医療の進め方  
3. 外来でのリハビリテーション診療，生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一，水間正澄). 医学書院，東京：pp38-42，2020.
8. 大橋鈴世，坂野元彦. III. 生活期のリハビリテーション診療の実際  
5.

- 予防と治療としての高齢者の身体機能増強, 生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 水間正澄). 医学書院, 東京 : pp92-95, 2020.
9. 沢田光思郎, 河崎 敬. III. 生活期のリハビリテーション診療の実際 6. 補装具・日常生活用具の種類・用途と給付制度, 生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 水間正澄). 医学書院, 東京 : pp96-105, 2020.
10. 新井祐志, 遠山将吾. IV. 生活期のリハビリテーション医療の対象疾患・障害・病態 2. 運動器疾患, 生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 水間正澄). 医学書院, 東京 : pp124-129, 2020.
11. 池田 巧, 三上靖夫. IV. 生活期のリハビリテーション医療の対象疾患・障害・病態 3. 脊髄損傷, 生活期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 水間正澄). 医学書院, 東京 : pp130-137, 2020.
12. 久保俊一. 変形性股関節症. 今日の診断指針. 第8版 (総編集 永井良三). 医学書院, 東京 : pp1524, 2020.
13. 河崎 敬. 内部障害. 障がいのある人のスポーツ指導教本 初級・中級. 日本障がい者スポーツ協会 編. ぎょうせい, 東京 : pp85-89, 2020.
14. 山端志保, 白石裕一. IVリハビリテーション (各論) 末梢動脈疾患. 改訂版第2版循環器リハビリテーションの理論と技術. 増田 卓, 松永篤彦 編. メジカルビュー, 東京 : pp434-444, 2020.
15. 久保俊一, 三橋尚志. I. 回復期のリハビリテーション医学・医療総論 1. リハビリテーション医学・医療の概要, 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 三上靖夫). 医学書院, 東京 : pp2-8, 2020.
16. 三上靖夫, 角田 亘. I. 回復期のリハビリテーション医学・医療総論 2. 回復期のリハビリテーション医学・医療の実態, 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 三上靖夫). 医学書院, 東京 : pp9-11, 2020.
17. 近藤国嗣, 三上靖夫. I. 回復期のリハビリテーション医学・医療総論 5. 急性期と生活期のリハビリテーション医学・医療との連携, 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 三上靖夫). 医学書院, 東京 : pp24-26, 2020.
18. 沢田光思郎, 三上靖夫. I. 回復期のリハビリテーション医学・医療総論 7. 回復期におけるリハビリテーション科医の役割, 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 三上靖夫). 医

- 学書院, 東京 : pp31-33, 2020.
19. 河崎 敬. II. 回復期のリハビリテーション医療・診療の進め方 5. 家屋評価・住宅(家屋)改修と福祉用具導入, 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 三上靖夫). 医学書院, 東京 : pp81-84, 2020.
  20. 美津島隆, 三上靖夫. III. 回復期のリハビリテーション診療の実際 3. 脊椎・脊髄の外傷, 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 三上靖夫). 医学書院, 東京 : pp138-145, 2020.
  21. 三上靖夫. III. 回復期のリハビリテーション診療の実際 4. 脊椎の疾患, 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 三上靖夫). 医学書院, 東京 : pp146-154, 2020.
  22. 新井祐志, 中川周士. III. 回復期のリハビリテーション診療の実際 4. 变形性股関節症・変形性膝関節症, 回復期のリハビリテーション医学・医療テキスト. (総編集 久保俊一, 三上靖夫). 医学書院, 東京 : pp155-162, 2020.

(B-a) 英文総説

なし

(B-b) 和文総説

- 1 白石裕一, 白山武司, 的場聖明, 三上靖夫. 診断と治療の最前線 心不全患者の再入院抑制を目指したリハビリテーションの意義. 循環 plus 20 : 9-11, 2020.
- 2 河崎 敬. 【脊髄損傷のリハビリテーション医学・医療—最前線と未来への展望】脊髄損傷と障がい者スポーツ. J Clin Rehabil 29 : 733-740, 2020.
- 3 瀬尾和弥. リハの現場で役立つ! 目で見る動作・歩行分析 パーキンソン病(解説). J Clin Rehabil 29 : 863-869, 2020.
- 4 河崎 敬, 三上靖夫, 中川周士, 新井祐志, 田島文博. 【東京 2020 パラリンピックとリハビリテーション医療のこれから】障がい者スポーツ選手のメディカルチェックと医師・専門職へ求めること. Jpn J Rehabil Med 57 : 506-511, 2020.
- 5 生駒和也, 牧 昌弘, 城戸優充, 大橋鈴世. 【足のリハビリテーション診療パーフェクトガイド】足趾・前足部障害に対するリハビリテーション治療. MED REHABIL 254 : 137-141, 2020.
- 6 三上靖夫, 新庄浩成, 大橋鈴世, 前田博士, 横関恵美, 櫻井桃子. 【併

- 存疾患をもつ高齢者の骨折のリハビリテーションのコツ】骨粗鬆症を伴う高齢者の脊椎椎体骨折に対するリハビリテーション診療. MED REHABIL 255 : 7-14, 2020.
- 7 風呂谷容平, 河崎 敬, 田島文博. 【TOKYO2020 とメディカルサポート】パラアスリートのメディカルサポートの諸課題. 体育の科学 70 : 481-486, 2020.
  - 8 三上靖夫, 河崎 敬, 新庄浩成. 【わが国での脊髄損傷の発生とリハビリテーション医療の歴史. 京府医大誌 129 : 327-338, 2020.
  - 9 新井祐志, 藤井雄太, 中川周士, 井上裕章, 三上靖夫. 【半月板 -Save the Meniscus】半月板の基礎 損傷半月板の治癒機転. 整・災外 63 : 513-518, 2020.
  - 10 三上靖夫, 河崎 敬, 坂野元彦. 【周術期のリハビリテーション診療—何を考え何を診て何をするのか】脊椎・脊髄手術. 総合リハ 148 : 425-430, 2020.
  - 11 沢田光思郎, 三上靖夫. 大学附属病院におけるカンファレンス. 総合リハ 149 : 313-317, 2020.

(C-a) 英文原著

1. Imoto D, Sawada K, Horii M, Hayashi K, Yokota M, Toda F, Saitoh E, Mikami Y, Kubo T. Factors associated with falls in Japanese polio survivors. Disabil, 42: 1814-1818, 2020. (IF= 3. 033)
2. Kido M, Ikoma K, Ikeda R, Hosokawa T, Hara Y, Imai K, Maki M, Ohashi S, Mikami Y, Kubo T. Reproducibility of radiographic methods for assessing longitudinal tarsal axes Part 2: Severe cavus or flatfoot study. Foot, 42: 101631, 2020. (IF= )
3. Fujii Y, Nakagawa S, Arai Y, Inoue H, Kan H, Hino M, Kaihara K, Mikami Y. Clinical outcomes after medial patellofemoral ligament reconstruction: an analysis of changes in the patellofemoral joint alignment. Int Orthop, Online ahead of print, 2020. (IF= 3. 075)
4. Toyama S, Oda R, Asada M, Nakamura S, Ohara M, Tokunaga D, Mikami Y. A modified Terrono classification for Type 1 thumb deformity in rheumatoid arthritis: a cross-sectional analysis. J Hand Surg Eur, 45: 187-192, 2020. (IF= 2. 688)
5. Itsuji T, Tonomura H, Ishibashi H, Mikami Y, Nagae M, Takatori R, Tanida T, Matsuda KI, Tanaka M, Kubo T. Hepatocyte growth factor regulates HIF-1  $\alpha$ -induced nucleus pulposus cell

- proliferation through MAPK-, PI3K/Akt-, and STAT3-mediated signaling., *J Orthop Res*, Online ahead of print, 2020. (IF= 3.494)
- 6. Ikoma K, Kido M, Maki M, Imai K, Hara Y, Ikeda R, Ohashi S, Shirai T, Kubo T. Early stage and small medial osteochondral lesions of the talus in the presence of chronic lateral ankle instability: A retrospective study. *J Orthop Sci*, 25: 78–182, 2020. (IF= 1.601)
  - 7. Kido M, Ikoma K, Sotozono Y, Ikeda R, Imai K, Maki M, Ohashi S, Kubo T. The influence of hallux valgus and flatfoot deformity on metatarsus primus elevatus: A radiographic study. *J Orthop Sci*, 25: 291–296, 2020. (IF= 1.601)
  - 8. Arai Y, Hara K, Inoue H, Kanamura H, Nakagawa S, Atsumi S, Mikami Y. Revascularization to the bone tunnel wall after anterior cruciate ligament reconstruction may relate to the distance from the vessels. *Knee Surg Relat Res*, 32: 53, 2020. (IF= )
  - 9. Koike H, Hatta Y, Tonomura H, Nonomura M, Takatori R, Nagae M, Ikoma K, Mikami Y. Can a relatively large spinal cord for the dural sac influence severity of paralysis in elderly patients with cervical spinal cord injury caused by minor trauma?. *Medicine (Baltimore)*, 99: e20929, 2020. (IF= 1.889)
  - 10. Nakagawa S, Arai Y, Inoue H, Fujii Y, Kaihara K, Mikami Y. Relationship of alignment in the lower extremity with early degeneration of articular cartilage after resection of the medial meniscus: Quantitative analysis using T2 mapping. *Medicine (Baltimore)*, 99: e22984, 2020. (IF= 1.889)
  - 11. Hishikawa N, Toyama S, Sawada K, Kawasaki T, Ohashi S, Ikoma K, Tokunaga D, Mikami Y. Foot orthosis treatment improves physical activity but not muscle quantity in patients with concurrent rheumatoid arthritis and sarcopenia. *Mod Rheumatol*, 25: 1–7, 2020. (IF= 3.023)
  - 12. Sawada K, Horii M, Toyama S, Imoto D, Ozaki K, Saitoh E, Mikami Y, Kubo T. Usefulness of electromyographic abnormality for prediction of future muscle weakness in clinically unaffected muscles of polio survivors. *PM&R*, 12: 692–698, 2020. (IF= 2.298)
  - 13. Miyakoshi N, Suda K, Kudo D, Sakai H, Nakagawa Y, Mikami Y, Suzuki S, Tokioka T, Tokuhiro A, Takei H, Katoh S, Shimada Y. A

nationwide survey on the incidence and characteristics of traumatic spinal cord injury in Japan in 2018. *Spinal Cord*, Online ahead of print, 2020. (IF= 2.772)

(C-b) 和文原著

- 1 谷口大吾, 生駒和也, 牧 昌弘, 城戸優充, 原 佑輔, 大橋鈴世. 難治性の足底腱膜炎に対する漢方治療の経験. *日東洋医誌*, 72 : 153-158, 2020.
- 2 根本 玲, 相良亜木子, 沢田光思郎, 杉山庸一郎, 櫻井桃子, 川上愛加, 大橋鈴世, 三上靖夫. 縦隔気腫を合併した皮膚筋炎の摂食嚥下障害に対するリハビリテーション治療の1例, *日摂食嚥下リハ会誌*, 24 : 69-76, 2020.
- 3 外園泰崇, 城戸優充, 牧 昌弘, 今井 寛, 大橋鈴世, 生駒和也. 有限要素解析を用いた踵骨骨切り内方移動術における骨切りパラメーターの検討. *日足の外科会誌*, 41 : 174-177, 2020.
- 4 城戸優充, 生駒和也, 外園泰崇, 原 佑輔, 今井 寛, 牧 昌弘, 大橋鈴世, 久保俊一. Charcot-Marie-Tooth病 type 1A に対する凹足矯正骨切り術の短期成績. *日足の外科会誌*, 41 : 57-60, 2020.
- 5 城戸優充, 生駒和也, 外園泰崇, 原 佑輔, 今井 寛, 牧 昌弘, 大橋鈴世, 久保俊一. Charcot-Marie-Tooth病 type 1A の下腿MR画像と足部変形の関連の検討. *日足の外科会誌*, 41 : 61-64, 2020.
- 6 北中重行, 高取良太, 外村 仁, 大藪 寛, 井辻智典, 渡部太輔, 長江将輝, 三上靖夫. 透析性脊椎症に対するPPSを併用したLLIFの臨床成績 腰椎変性疾患との比較. *J Spine Res*, 11 : 1044-1048, 2020.

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び国際学会における一般発表のみ記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

I ) 特別講演、教育講演等

1. 沢田光思郎. 教育講演 歩行障害の治療—脳卒中下肢装具療法を中心 に—. 第6回京都リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都
2. 三上靖夫. 特別講演 急性期の運動器リハビリテーション処方の実際. 第42回宮崎リハビリテーション研究会, 2020, 宮崎

3. 三上靖夫. 教育講演 脳卒中片麻痺の日常生活活動に使える装着型随意運動介助電気刺激装置. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
4. 沢田光思郎. 教育講演 ターニングポイントでみる脳卒中回復期の下肢装具療法. 第 57 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2020, 京都.
5. 三上靖夫. 教育講演 柔道とリハビリテーション医学・医療—転倒予防から五輪まで—. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
6. 三上靖夫. 教育講演 アスレティックリハビリテーションの実際. 第 4 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2020, 神戸.

## II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

1. 池田 巧, 前田博士, 榎本卓真, 加藤昌暉, 西田朋子, 山崎泰志, 菱川法和, 中川恵介, 蚊子拓真, 大橋鈴世, 奥田求己, 高橋孝多, 清水直人, 宮本啓江, 三上靖夫. ウエルウォーク WW-1000 を用いた多施設での共同研究. パネルディスカッション 新しい時代に切り拓くリハビリテーション医学・医療. 第 6 回京都リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
2. 沢田光思郎. 京都府におけるリハビリテーション科専門医養成. パネルディスカッション 新しい時代に切り拓くリハビリテーション医学・医療. 第 6 回京都リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
3. 田主篤司, 徳川誠治, 伊藤慎英, 小池宏典, 大橋鈴世. 骨粗鬆症リエゾンサービスにおける理学療法士の取り組み. パネルディスカッション 新しい時代に切り拓くリハビリテーション医学・医療. 第 6 回京都リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
4. 戸枝 葵, 久保秀一, 新海弘祐, 長谷川龍志, 細井 創, 三上靖夫. 当院における新生児集中治療室 (NICU) 専従理学療法士の取り組み. パネルディスカッション 新しい時代に切り拓くリハビリテーション医学・医療. 第 6 回京都リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
5. 花崎将樹, 三上靖夫, 麻田博之, 田後裕之, 万谷 健, 飯高 玄. 京都 JRAT 結成と今後の取り組み. パネルディスカッション 新しい時代に切り拓くリハビリテーション医学・医療. 第 6 回京都リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.

6. 生駒和也, 城戸優充, 外園泰崇, 牧 昌弘, 大橋鈴世. 成人期扁平足における足部回外拘縮の問題. シンポジウム 成人期外反扁平足 治療の最前線-日本で, 世界で, 今何が行われているのか。その成績と今後の課題は?-. 第 93 回日本整形外科学会学術総会, 2020, Web.
7. 白石裕一, 白山武司, 的場聖明, 三上靖夫. 不整脈のリハビリテーション医療の進歩. シンポジウム 心臓リハビリテーション医療の進歩. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
8. 新井祐志, 井上裕章, 中川周士, 三上靖夫. 変形性膝関節症に対する手術療法と運動療法. シンポジウム 中高齢者に対する運動療法の展開. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
9. 河崎 敬, 田島文博, 草野修輔, 陶山哲夫. 日本選手のメディカルチェックについて. 合同シンポジウム, 2020 年夏季東京大会におけるパラアスリートサポートのための医療戦略と準備状況. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
10. 島原範芳, 藤田慎一朗, 平 和晃, 中野正規, 内山裕貴, 上甲雄太郎, 西岡直哉, 西岡沙央里, 佐藤信治, 赤松和紀, 菱川法和, 中村めぐみ, 澤田直哉, 奥田恭章, 大西 誠, 遠山将吾, 佐浦隆一. 高齢関節リウマチ患者のフレイルと関連因子の諸問題ーその現状と課題に対する試みー. 合同シンポジウム, 関節リウマチのリハビリテーション医学・医療の未来. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
11. 三上靖夫, 大橋鈴世, 伊藤倫之, 前田博士. 装着型随意運動介助電気刺激装置の使用経験. 特別企画シンポジウム, 機能的・治療的電気刺激の最前線. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020, 京都.
12. 北中重行, 高取良太, 外村 仁, 大藪 寛, 井辻智典, 渡部太輔, 長江将輝, 三上靖夫, 高橋謙治. 頸椎化膿性脊椎炎に対して後方固定術を施行した治療経験. 主題, 低侵襲脊椎手術の最前線 (脊椎腫瘍・感染性疾患). 第 23 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2020, 神戸.
13. 小池宏典, 八田陽一郎, 外村 仁, 野々村卓, 高取良太, 長江将輝, 三上靖夫, 高橋謙治. 高齢者の非骨傷性頸髄損傷における麻痺重症度に影響する因子. シンポジウム, 高齢者の頸椎外傷を極める. 第 23 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2020, 神戸.
14. 長江将輝, 三上靖夫, 外村 仁, 高取良太, 大藪 寛, 原田智久, 森弦, 井辻智典, 高橋謙治. 腰部脊柱管狭窄症に対する ME-MILD-10 年以上の長期治療成績から分かったことー. 主題, 低侵襲脊椎手術の長

期成績. 第 23 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2020, 神戸.

15. 長島新吾, 長江将輝, 外村 仁, 高取良太, 井辻智典, 大藪 寛, 三上靖夫, 高橋謙治. 後頭頸椎固定術の術中指標となる後頭骨一軸椎角の新たな計測法. 主題, 画像診断を極める. 第 23 回日本低侵襲脊椎外科学会学術集会, 2020, 神戸.
16. 遠山将吾, 菱川法和, 小田 良, 沢田光思郎, 徳永大作, 高橋謙治, 三上靖夫. 関節リウマチにおけるサルコペニア. シンポジウム, サルコペニアを考える. 第 48 回日本関節病学会, 2020, 神戸.
17. 沢田光思郎, 根本 玲, 櫻井桃子, 久保元則, 小寺勝也, 奥田草太, 小山 瞳, 三上靖夫. ポリオ後遺症に対する下肢装具. シンポジウム, ポストポリオ症候群 最近の話題. 第 4 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2020, 神戸.
18. 島原範芳, 藤田慎一朗, 平 和晃, 中野正規, 内山裕貴, 上甲雄太郎, 西岡直哉, 西岡沙央里, 佐藤信治, 赤松和紀, 菱川法和, 中村めぐみ, 大西亜子, 田中由紀, 澤田直哉, 奥田恭章, 大西 誠, 遠山将吾, 佐浦隆一. 寛解時代に求められる社会参加への支援を再考する—ライフステージと患者の要望を考慮した A better of Pitfall —. シンポジウム, 社会参加支援の為の Pitfall. 第 35 回日本リウマチリハビリテーション研究会, 2020, 神戸.
19. 生駒和也, 牧 昌弘, 城戸優充, 原 佑輔, 外園泰崇, 今井 寛, 大橋鈴世, 高橋謙治. 長距離走選手の足部形状と下肢障害の関係. シンポジウム, 足部足関節のバイオメカニクスランニングとジャンプで何が起こっているのか—. 第 45 回日本足の外科学会・学術集会, 2020, Web.
20. 菱川法和, 遠山将吾, 沢田光思郎, 大橋鈴世, 徳永大作, 三上靖夫. 関節リウマチのサルコペニア併存を予防する外来リハビリテーション医療の役割. シンポジウム, 関節リウマチの外来リハビリテーション医療. 第 35 回日本臨床リウマチ学会, 2020, 富山.
21. 遠山将吾, 菱川法和, 小田 良, 沢田光思郎, 徳永大作, 高橋謙治, 三上靖夫. 関節リウマチ症例への積極的なリハビリテーション治療の工夫. シンポジウム, 関節リウマチの外来リハビリテーション医療. 第 35 回日本臨床リウマチ学会, 2020, 富山.
22. 島原範芳, 藤田慎一朗, 平 和晃, 佐藤信治, 菱川法和, 中村めぐみ, 澤田直哉, 奥田恭章, 大西 誠, 遠山将吾, 佐浦隆一. RA 寛解時代の外来リハビリテーション医療—「活動を育む」, 患者の望む生活様式の獲得を目指して—. シンポジウム, 関節リウマチの外来リハビリ

テーション医療. 第35回日本臨床リウマチ学会, 2020, 富山.

23. 長江将輝, 三上靖夫, 外村 仁, 高取良太, 大藪 寛, 原田智久, 森弦, 井辻智典, 高橋謙治. 腰部脊柱管狭窄症に対するME-MILDの長期成績—術後10年以上経過例の検討—. 主題, 腰椎低侵襲脊椎手術の中・長期治療成績. 第28回日本腰痛学会, 2020, Web.

### III) 国際学会における一般発表

- 1 Hishikawa N, Toyama S, Ohashi S, Sawada K, Ikoma K, Tokunaga D, Mikami Y. Effectiveness of foot orthosis to promote physical activity for patients with concurrent rheumatoid arthritis and sarcopenia. European congress of rheumatology 2020. 2020. Jun 3-6; Frankfurt, Germany.
- 2 Toyama S, Oda R, Tokunaga D, Tsuchida S, Hishikawa N, Ohara M, Mikami Y. Comprehensive rheumatoid hand assessment through pattern of deformities using cluster analysis. European congress of rheumatology 2020. 2020. Jun 3-6; Frankfurt, Germany.
- 3 Murai K, Kawasaki T, Umamoto Y, Tajima F. Renal function and endocrine responses to arm exercise in persons with spinal cord injury. 59th the international spinal cord society annual scientific meeting, 2020. Sep 1-5; Yokohama (virtual).

### E 研究助成（競争的研究助成金）

#### 公的助成

代表（総額）・小計 360 万円

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 平成30～令和2年度  
サルコペニアを可視化する—拡散テンソル法を用いた骨格筋の機能描出—  
助成金額 40 万円
- 2 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 令和元～3年度  
姿勢からみる高齢者の活動—京丹後長寿コホート研究—  
助成金額 80 万円
- 3 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 令和元～3年度  
リハビリテーションの質を可視化する—健康長寿に向けた負荷量見える化の試み—  
助成金額 90 万円
- 4 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 令和元～3年度

下腿遅筋を標的とした RA サルコペニア治療 分子シャペロン—マイオカイン誘導療法 助成金額 150 万円

分担・小計 100 万円

- 1 厚生労働省科学研究費補助金厚生労働行政推進調査事業 令和 2~4 年度  
要介護者に対する疾患別リハビリテーションから維持期・生活期リハビリ  
テーションへの一貫したリハビリテーション手法の確立研究  
助成金額 100 万円